

2026年5月22日

## 九州工業大学と日本分析機器工業会が包括連携協定を締結

—MaiML 普及と研究 DX・データ基盤の高度化を推進—

国立大学法人九州工業大学（福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1、学長：安永卓生、以下「九州工業大学」）と一般社団法人日本分析機器工業会（東京都千代田区神田錦町2-5-16、会長：足立正之／株式会社堀場製作所 代表取締役社長、以下「JAIMA」）は、Measurement Analysis Instrument Markup Language (MaiML) ※1 の国内外における普及と活用を通じた研究 DX およびデータ基盤の実現・高度化を目的として、包括連携協力協定を2026年5月15日に締結しました。



(左より)九州工業大学 安永学長、JAIMA 足立会長

### ポイント

- ✓ MaiML の普及と国際標準化に向けた連携を強化
- ✓ 研究 DX・データ基盤の構築・高度化に向けた共同取組を推進
- ✓ AI for Science を支える人材育成や研究基盤モデル開発を実施

## ■概要

九州工業大学と JAIMA は、MaiML の国内外における普及およびそれを活用した先端研究基盤の刷新を図るため、包括連携協力協定を締結しました。

本協定は、MaiML を核に、研究 DX およびデータ基盤の実現・発展に向けて、国際標準化の推進、研究情報基盤の高度化、AI for Science 推進に資する人材育成、関係機関との連携による社会実装などを推進するものです。

## ■背景

JAIMA は、デジタル社会への対応を目的として、分析機器データフォーマットの共通化に取り組み、「JIS K 0200：2024 計測分析装置の分析データ共通フォーマット」の制定を、JIS 原案作成団体として推進して参りました。さらに、日本発の国際標準化(ISO 規格)を目指し、現在、ISO/TC201/SC3 に新規国際規格提案を行う国際標準化活動を実施しています。また、国内の MaiML 普及推進活動として、「共通データフォーマット対応ガイドライン」、「MaiML スキーマ定義ファイル・スキーマチェック手順書」のウェブサイト(<https://www.maiml.org>)で公開、各種講習会の実施や、JASIS のラボ DX ブースにおける情報発信を行っています。

一方、九州工業大学は、これまで分析機器データフォーマット共通化のための技術開発、標準化に係る国プロジェクトで主導的な役割を果たしてきており、今年度からは、ISO/TC201/SC3 に新規規格提案を行う活動にも JAIMA と連携して取り組んでいます。また、MaiML を活用した研究 DX ・データ基盤構築の取り組みとして、MaiML の高度化に向けた研究開発、実証実験、人材育成を進めるとともに、MaiML を活用した研究情報基盤モデル開発など、AI for Science の推進に向けた先端研究基盤刷新計画推進の計画も進めています。

## ■今後の展望

本連携により、MaiML を活用した研究 DX とデータ基盤の整備・高度化を加速させ、AI for Science の推進とともに、我が国のアカデミアおよび産業界における研究開発力の強化と社会・産業の発展への貢献が期待されます。

※1 MaiML (Measurement Analysis Instrument Markup Language)

分析機器データの共通記述・共有を実現するためのデータフォーマット

### 【お問い合わせ】

#### 国立大学法人九州工業大学

(本協定に関するお問い合わせ)

研究本部研究企画課研究企画係

E-mail : ken-kikaku@jimu.kyutech.ac.jp

(広報に関するお問い合わせ)

管理本部総務課広報係

E-mail : pr-kouhou@jimu.kyutech.ac.jp

#### 一般社団法人日本分析機器工業会

(本協定に関するお問い合わせ)

専務理事 吉田秀人

E-mail : webmaster@jaima.or.jp

(広報に関するお問い合わせ)

専務理事 吉田秀人

E-mail : webmaster@jaima.or.jp